

2025.8
Vol.133

にいだがわつうしん

新田川通信

発行元：(有)佐藤建業

南相馬市原町区北新田字広田170

Tel：(0244) 22-7619

Mail：info@sato-kengyo.jp

https://www.sato-kengyo.jp

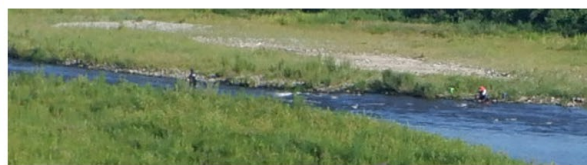


今 新田川では 新田橋(にいだはし)

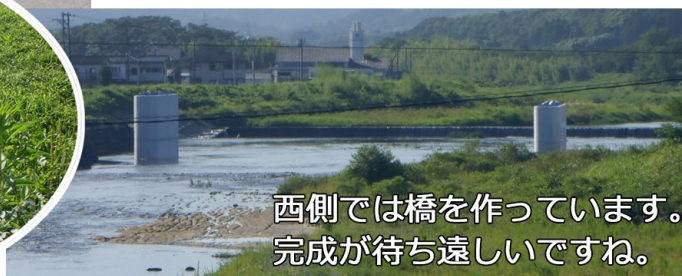


ここは旧道（県道120号）沿い、原町区小川町にある新田橋。

原町区から鹿島区につながる道路で、朝と夕は交通量がとても多い場所。暑い日々が続き、あまり雨が降らないため、川の流れがとても穏やかです。



▲遠くに釣り人(?)の姿がありました。川に入る時は水の事故に注意ですよ～。



西側では橋を作っています。完成が待ち遠しいですね。

周辺に生えていた、すぐニョキニョキ伸びてくるこの草▶ Google先生に聞いてみたところ、オオアワダチソウとのこと。しかしよく似た草にセイタカアワダチソウとヒメムカシヨモギがあり、正確にはわかりません(^_^;)



大工さん 今日とはどんなお仕事？



南相馬の道の駅に隣接している高見公園にてじゃぶじゃぶ池の修繕工事を行いました。中央が噴水になっていて、池の中で遊べる施設です。お子様連れの方は是非ご利用ください。

After



Before

◀修繕前は青色でした。覚えてますか？

令和7年のじゃぶじゃぶ池の開園期間は7月18日（金）～9月30日（火）まで。開園時間は午前9：00～午後5：00です。（※火曜日と金曜日の午前中は清掃のため利用できません）

F-REI 着工のお知らせ

小高区吉名地内にて、F-REI職員用賃貸住宅新築工事が始まりました。2棟を佐藤建業にて建築しています！竣工は令和7年10月末予定。竣工してから居住者が決まるまでの間、モデルハウスとして開放する予定なので楽しみにお待ちください。



【F-REI（エフレイ）】とは…福島国際研究教育機構(Fukushima Institute for Research, Education and Innovation)の略。日本の科学技術力・産業競争力の強化を目指して設立された特殊法人。

《 社員紹介コーナー 》

久しぶりの社員紹介となります！今回は遠藤利美さん。大工補助です。先輩大工から技術を習っているところです！物腰が低く、控えめな性格ですが、優しく、やる気は100%！！丁寧な仕事をしますので、どうぞご安心ください。奥様と猫と仲良く自宅で映画を鑑賞するのが趣味だそうです(*^-*)現場で見かけた際は、応援のお言葉を頂けると幸いです。



↑ユニック車を操作する遠藤さん。

《大工さんのアイテム》

砥石 (といし)

砥石は、刃物を研いで切れ味を回復させる道具。一般的には、水で濡らして使用する『水砥石』がよく使われます。(油を使うものは『油砥石』)

…では、砥石を水に浸けておいたら、いざ研いでいきます。家庭では『1000番』と表記のある砥石一個で十分です('ω') 研ぎの角度は10~15度を目安に研いでいきましょう。(包丁の場合、角度を固定するガイドを使うと間違いなし) 切れない包丁は危ないですから、研ぎに自信がない場合はシャープナーでもいいので、定期的に研ぐようにしましょう。



◀砥石で研ぐ様子
大工さんの必需品である『ノミ』を手入れしている様子です。
使い込んでるのに綺麗！
できる職人は道具を大事にします('◇')ゞ



◀携帯シャープナー
本当は砥石で研ぎたいところ…ですが、現場でナイフ等をちゃちゃっと研ぎたい時に便利です。一応、水で濡らさなくても研げるのが助かります。刃物が必需品…ということは、シャープナーも必需品。



刃が滑ってしまうようではまだ研げていません

※指を切らないように注意！

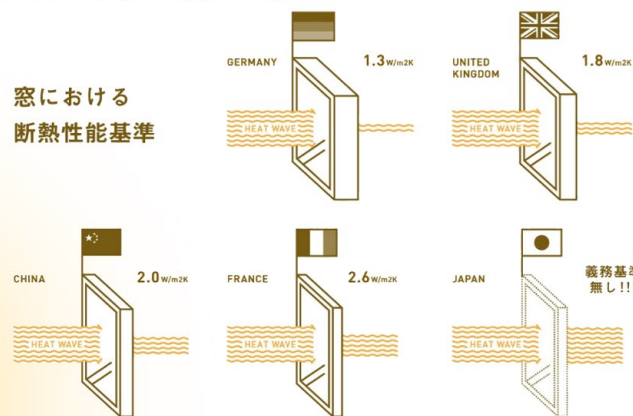
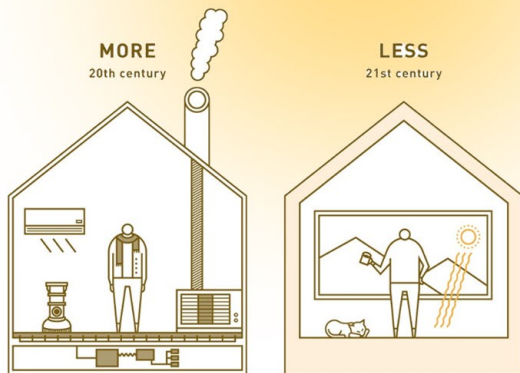
◀電工ナイフをシャープナーで研ぐ様子。研げているかどうか確かめる方法として、親指の爪に刃を当てるやり方があります。ひっかかりがあれば、十分に研がれています。

パッシブハウスを建てよう ~省エネ性能を世界基準へ~

弊社では、新たにパッシブハウス認定を取得する取り組みを始めました。パッシブハウスとは、ドイツにあるパッシブハウス研究所が取り決めた基準に適合する住宅のことで、世界で一番取得が難しい省エネ基準です。

例えば…南相馬市で、年間暖房を使う日が10日以内に抑える事ができたら凄いと思いませんか？それを実現できる家こそ、パッシブハウスなのです。

パッシブハウスでは、年間で暖房に使用するエネルギー量を計算します。冬、家の中に直接、太陽の光が入ると、暖かくなりますよね。こういった自然エネルギーを暖房の代わりに使用して、昼間に暖房を使う日を減らし、魔法瓶のように断熱材を適切に使用する事で昼間に温めた空気を夜になっても外に逃がさない構造となり、極端に暖房を使用する日を減らす事ができます。もちろん、夏の冷房に使用するエネルギー量も計算します。



パッシブハウスの設計は、省エネ建築診断士の資格を持った専門家が行います。弊社には、省エネ建築診断士の資格のある工事部長石井がおりますので、お気軽にご相談ください。パッシブハウスは、新築戸建てはもちろん、集合住宅やリフォームでも取得可能です。日本の住宅は、30年遅れている…。佐藤建業で、世界基準の最高峰省エネ住宅を建ててみませんか？

やま ひ 山の日



8月11日は山の日！
お手元に紙面が届く頃には
過ぎていていると思いますが(∧ω∧)

というわけで新地町にある鹿狼山(かろうさん)に登って来ました。標高430m、片道40分ほどの、初心者向けの山です。鹿狼の湯に隣接した駐車場近くにある登山口から登っていきます。



↑マナーを守って登りましょう

山頂に到着すると、「手長足長」という妖怪を祀った神社があります。小屋やテーブルもあり、小休止できます。



山頂からの眺め。この標高でも美しい見晴らしが楽しめます。



鹿と狼の像が出迎えます

(※山頂にトイレは無いので、先に済ませましょう。)
さて、いきなり道が二手に分かれます。距離は短いけれど傾斜が厳しい「眺望コース」と、距離は長いけれど傾斜が緩やかな「樹海コース」。今回は難易度の低い樹海コースを進みます。暑い陽気ですが、山道は木陰に覆われ、思ったより涼しいです。